

令和8年度

ジュエリー産地山梨高度人材養成講座募集要項
(第2回 8月・9月)



写真 飯野一郎 講師作品

平象嵌・線象嵌・打込み象嵌等様々な伝統技法を現代的解釈に取り込みながら制作された、遊び心溢れる作品の数々

山梨県産業政策部産業振興課

1. 受講までの流れ

次の①から⑤の順に手続きを進めてください。ご不明な点については、⑥に記載の連絡先まで、ご相談ください

①講座について

講座内容や受講対象者など、講座の詳細について p7～p12 をご覧ください。

各講座の日程一覧は次のとおりです。

講座 No	講座名	実施日
No. 1	一流ジュエラーによるプロフェッショナル向け実習講座	9/8(火)、9/9(水)、 9/15(火)、9/16(水)
No. 2	匠の技継承講座【彫留めコース・A 日程】	8/24(月)、8/25(火)
No. 3	匠の技継承講座【彫留めコース・B 日程】	8/31(月)、9/1(火)
No. 4	匠の技継承講座【宝石のリカットコース・A 日程】	8/26(水)、8/27(木)
No. 5	匠の技継承講座【宝石のリカットコース・B 日程】	9/2(水)、9/3(木)
No. 6	社会人向け輝きの伝承講座、技能塾	8/27(木)、9/3(木)、 9/10(木)

②講座に申し込む

メールにてお申し込みください。

申し込み窓口:山梨県産業政策部産業振興課地場産業振興担当

Mail: uegaki-ahfn@pref.yamanashi.lg.jp

お申し込みの際には、下記の事項をお伝えください。

- ・講座 No.、所属、氏名、連絡先(電話番号、メールアドレス)
- ・ジュエリー産業における経験年数、業務の分野(宝石加工、宝飾加工等)

【ジュエリーマスター割について】

以下のいずれかに該当する方は、受講料から 10%の割引を適用します。

- ① ジュエリーマスター取得者
 - ② ジュエリーマスターから推薦を受けた者
- ※②に該当する方は、ジュエリーマスターが作成した推薦書(様式2)を添えてお申し込みください。

全講座:申し込み期限 8月17日(月)

③受講の決定について

上記②記載の申し込み期限後に受講決定通知等でお知らせします。

※申し込み先着順で受講決定いたします。申し込み期限前でも、定員に達した時点で、申し込み受付を終了します。

④受講料のお支払い

受講料のお支払いは、受講後に納入通知書による納付となります。

納入通知書は、全講座終了後に発送します。※納入後のご返金はいたしかねます。

受講料の50%助成について

・協同組合山梨県ジュエリー協会の組合員及び組合員企業の従業員が本講座を受講する場合、同協会より受講料の50%が助成されます。

助成適用の可否については、受講決定通知等にてお知らせします。

※協同組合山梨県ジュエリー協会組合員の方は、直近の「組合だより」をご参照ください。

※上記の割引及び助成の両方適用となる者は、ジュエリーマスター割を適用した上で50%の助成が適用されます。

※振込手数料は受講生の負担となります。

⑤講座を受講する

講座の時間、会場については、p7～p12の案内をご参照ください。

駐車場については、ココリまたは近隣のパーキングをご利用ください。本講座受講にかかる駐車場の無料化処理は行いません。

⑥問い合わせ先

講座についてのお問い合わせ、ご質問等は下記までお願いします。

山梨県産業政策部産業振興課地場産業振興担当 担当:上垣

電話:055-223-1543

Mail:uegaki-ahfn@pref.yamanashi.lg.jp

⑦個人情報の取り扱い等について

取得した個人情報は、県の規則等に基づき適正に管理し、当講座の運営及び山梨県から受講希望者および受講生へのお知らせに限り、利用させていただきます。

講座については、記録、広報用に撮影をさせて頂く場合があります。県広報媒体への掲載やマスメディア等の取材が行われる可能性があることをご了承の上、お申し込みください。

⑧講座概要及び講師紹介

講師名及び担当講座	講師紹介
<p>飯野 一郎</p> <p>一流ジュエラーによるプロフェッショナル向け実習講座</p> <p>講座番号 No. 1</p>	<p>山梨県立宝石美術専門学校校長、東京藝術大学名誉教授、彫金家。東京藝術大学大学院美術研究科彫金専攻修了。1976～2017年まで同大で彫金の指導に携わり、2018年4月より現職。日本ジュエリー展ジュエリー大賞、日本クラフト展クラフト賞ほか、受賞多数。「ジュエリーデザインアワード」審査委員長、「国際コイン・デザイン・コンペティション」審査委員などを務める。百貨店などで個展を開催し、作品は、The Metropolitan Museum of Artをはじめとして、国内外の美術館に所蔵されている。</p> <div style="text-align: center;">  <p>(a)</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>(b)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(c)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(d)</p> </div> </div> <p>(a)花器 : 銅・金箔・銀箔 【個人 蔵】</p> <p>(b)ブローチ: 銀 【東京藝術大学大学美術館 蔵】</p> <p>(c)アリアリ : 銀・金メッキ・大理石 【上野駅ジュエリーブリッジ上 設置】</p> <p style="text-align: center;">※作品の一部を拡大</p> <p>(d)筥 : 銅・金銷・銀メッキ 【メトロポリタン美術館 蔵】</p>

川口 和寿

匠の技継承講座
【彫留めコース】

講座番号 No. 2、No. 3

高校卒業後、20歳の頃より山梨県内の貴金属加工会社に就職・修行。宝石の石留め・地金への彫刻を習得。山梨県中央市に工房を構え、宝石石留め・彫刻の専門職として、35年以上の職人歴をもつ。彫刻に関しては「和彫り」「洋彫り」の良き所を独自に開拓し駆使させつ、数々の作品等に息吹をもたらす。「ハワイアン彫り」も手がける。県内で、失われつつある高度な彫留技術を有するジュエリー職人。



出典:<https://bene-bene.net/design-roots/1756/>

彫り職人<川口和寿>の技術、感性がジュエリーの在り方を変える。



出典:<https://bene-bene.net/design-roots/1756/>



中野 誠

匠の技継承講座
【宝石のリカットコース】

講座番号 No. 4、No. 5

山梨県を拠点に活動する一級宝石研磨士であり、山梨県立宝石美術専門学校の非常勤講師。宝石のカットや研磨において高い技術力を持ち、特に「金平糖」の形をしたユニークなルース(裸石)で知られている。宝石美術専門学校で学び、独自の技術とデザインセンスを磨き上げ、多くのジュエリー作家やデザイナーから信頼を得ている。



【サイズ】 直径:約7mm

【素 材】 緑色:クリソプレース
青色:シーブルーカルセドニー
水色:アクアマリン
茶色:シトリン
紫色:アメシスト

出典:<https://www.pref.yamanashi.jp/documents/67233/cj14.pdf>



「金平糖」加工前後



角度調整する道具

村松 司

社会人向け輝きの伝承講座、技能塾

講座番号 No. 6

山梨県ジュエリーミュージアムスーパーバイザー、山梨県立宝石美術専門学校非常勤講師。草花や昆虫をモチーフにしたデザインで世界的に有名な日本人ジュエリーデザイナー。貴金属加工や宝石研磨もすべて自身でこなす。高度なエナメル技法を使用した鮮やかなグラデーションもデザインの特徴。GIT's World Jewelry DesignAward's2022 審査員、一級技能士(国家技能検定)。



出典:<https://www.kobomuramatsu-jewelry.com/post/2025> 新作「カメレオン」

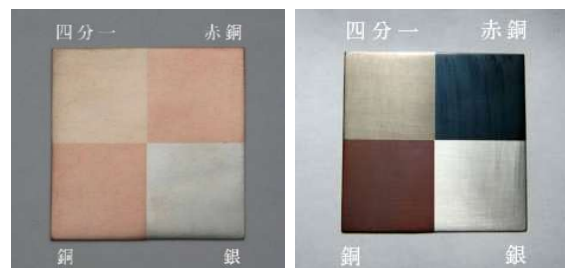


出典:<https://www.kobomuramatsu-jewelry.com/works>

講座番号	No. 1	講座名	一流ジュエラーによるプロフェッショナル向け実習講座		
開講日時	第1回9月 8日(火) 13:30~16:30 第2回9月 9日(水) 9:30~12:30 第3回9月 15日(火) 13:30~16:30 第4回9月 16日(水) 9:30~12:30	受講対象	山梨県内に在住のジュエリー産業従事者 (制作分野)、 (その他要問い合わせ)		
開催場所	山梨県立宝石美術専門学校 貴金属加工室 6	定員	12名程度		
		講習料	40,000円(全4回合計)		
担当講師	講師:飯野一朗、サポート講師:穂坂雅喜、前田恭兵、小林茉莉				
内容課題 持参道具 注意事項	<p>日本を代表する彫金家 飯野一朗 氏を講師に迎え、彫金の伝統技法である線象嵌と日本独自の銅合金の着色方法を習得します。</p> <p>象嵌や色金の技法は刀剣装飾と共に発展し、西洋のジュエリーとは異なる独特の美を育んできました。銅に金や銀などの割金を合金し、煮色着色を施すことで、独特の色調を生む日本独自の「色金」。微妙な色調や陰影の表現は、海外からも高い評価を受けています。</p> <p>【内容】</p> <p>第1回 講義:象嵌概論</p> <p>①飯野一朗作品紹介 ②象嵌の種類と特徴 ③色金について ④実習内容の説明及びデザイン考察</p> <p>1)線象嵌の作業工程及び使用地金について 2)参考デザインの紹介 3)デザイン考察及び決定 ※第2回(翌日)までにデザインを決定する (前年度受講者は「切り嵌め象嵌」と組み合わせた作品も可能)</p> <p>第2回 実習「線象嵌①」</p> <p>①デザイン確認 ②タガネ制作(剣先タガネ・ならしタガネ) ③デザイン画転写 ④溝彫り ⑤嵌め込み</p> <p>※9日 13:30~16:30 教室を開放します</p> <p>第3回 実習「線象嵌②」</p> <p>①仕上げ(ヤスリ掛け・炭研ぎ) ②煮色着色について</p> <p>※15日 9:30~12:30 教室を開放します</p> <p>第4回 実習「煮色着色」</p> <p>①煮色着色 ②色留め(蜜蝋) ③講評</p>				



講師作品
平象嵌・線象嵌・打込み象嵌等様々な伝統技法を現代的解釈に取り込みながら制作された、遊び心溢れる作品の数々



各種色金及び煮色着色の例 左 着色前、右 着色後

【持参道具】①糸鋸(刃・弓)、②ヤスリ各種、③ケガキ用具

【注意事項】

※本講座では、貴金属を使用します。実習講座に必要な材料は、各回支給します。

※ただし、実施により完成した作品及び落金を持ち帰ることはできません。

※受講生の作業進捗やその他の事情により、講座の内容を変更する場合があります。

講座番号	No. 2	講座名	匠の技継承講座【彫留めコース・A 日程】		
開講日時	第1回 8月24日(月) 9:30~12:30 第2回 8月24日(月) 13:30~16:30 第3回 8月25日(火) 9:30~12:30 第4回 8月25日(火) 13:30~16:30	受講対象	山梨県内に在住のジュエリー産業従事者(制作分野)、 (その他要問い合わせ)		
開催場所	山梨県立宝石美術専門学校 貴金属加工室3	定員	12名程度		
		講習料	24,000円(全4回合計)		
担当講師	講師:川口和寿、サポート講師:仲 剛司				
内容課題 持参道具 注意事項	<p>宝石石留め・彫刻の専門職として、35年以上の職人歴をもつ川口和寿を講師に迎え、県内では、失われつつある彫留の技術を習得します。ジュエリー制作における彫留めの基本技術の習得と実技経験を通じた技術の理解を目指します。</p> <p>【内容】</p> <p>第1回 彫留めの基礎理論と工具の取り扱い</p> <p>①彫留めの用途、ジュエリーにおける重要性 ②主な彫留めの種類(一文字ライン彫留め、マス留め、五光留め、パヴェ留め等) ③彫留めに使用する工具の紹介 (タガネ、ハンマー、グレーバー、ルーペ等) ④実技:タガネ研ぎ、簡単な線引き練習</p> <p>第2回 単石のタガネ留め(1)</p> <p>①単石留めの基本構造とプロセス解説 ②石座の準備とマーキング ③模擬石を使った単石のタガネ留め(直線配置) ④留めの仕上げとチェックポイント</p> <p>第3回 単石のタガネ留め(2)・ミル留め基礎</p> <p>①ラインの彫留め ②ラインの彫留め応用 ③ラインの彫留め実習</p> <p>第4回 応用課題とまとめ</p> <p>①パヴェ留めの基本 ②パヴェ留めの実習 ③グループレビューと講師講評 ④技術チェックと次のステップへのアドバイス</p> <p>【注意事項】 ※実習講座に必要な材料は、各回支給します。 ※受講生の作業進捗やその他の事情により、講座の内容を変更する場合があります。</p>				

【持参道具】

- ・オタフク槌 小さめ(4分前後)
- ・ルーペ(x10程度)
- ・ピンバイス
- ・ピンセット
(2mm以下の石を掴むため、
極細のものが良い)
- ・カッターナイフ
(一般的なもので良い)
- ・ケガキ(カニコンパスでも良い)
- ・ノギス
- ・油性ペン(マッキー極細など)
- ・超硬へら(先の細いもの)
- ・ヤスリ(三角の細目又は精密)

※その他、ドリル、ハンドモーター等、
普段ご自身で使用している
工具を持参いただいで結構
です。

講座番号	No. 3	講座名	匠の技継承講座【彫留めコース・B 日程】		
開講日時	第1回 8月31日(月) 9:30~12:30 第2回 8月31日(月) 13:30~16:30 第3回 9月1日(火) 9:30~12:30 第4回 9月1日(火) 13:30~16:30	受講対象	山梨県内に在住のジュエリー産業従事者(制作分野)、 (その他要問い合わせ)		
開催場所	山梨県立宝石美術専門学校 貴金属加工室3	定員	12名程度		
		講習料	24,000円(全4回合計)		
担当講師	講師:川口和寿、サポート講師:仲剛司				
内容課題 持参道具 注意事項	<p>※No2 匠の技継承講座【掘留めコース・A 日程】と同じ内容、別日程の講座です。</p> <p>宝石石留め・彫刻の専門職として、36年以上の職人歴をもつ川口和寿を講師に迎え、県内では、失われつつある彫留の技術を習得します。ジュエリー制作における彫留めの基本技術の習得と実技経験を通じた技術の理解を目指します。</p> <p>【内容】</p> <p>第1回 彫留めの基礎理論と工具の取り扱い</p> <p>①彫留めの用途、ジュエリーにおける重要性 ②主な彫留めの種類(一文字ライン彫留め、マス留め、五光留め、パヴェ留め等) ③彫留めに使用する工具の紹介 (タガネ、ハンマー、グレーバー、ルーペ等) ④実技:タガネ研ぎ、簡単な線引き練習</p> <p>第2回 単石のタガネ留め(1)</p> <p>①単石留めの基本構造とプロセス解説 ②石座の準備とマーキング ③模擬石を使った単石のタガネ留め(直線配置) ④留めの仕上げとチェックポイント</p> <p>第3回 単石のタガネ留め(2)・ミル留め基礎</p> <p>①ラインの彫留め ②ラインの彫留め応用 ③ラインの彫留め実習</p> <p>第4回 応用課題とまとめ</p> <p>①パヴェ留めの基本 ②パヴェ留めの実習 ③グループレビューと講師講評 ④技術チェックと次のステップへのアドバイス</p> <p>【注意事項】</p> <p>※実習講座に必要な材料は、各回支給します。 ※受講生の作業進捗やその他の事情により、講座の内容を変更する場合があります。</p>				

【持参道具】

- ・オタフク槌 小さめ(4分前後)
 - ・ルーペ(x10 程度)
 - ・ピンバイス
 - ・ピンセット
(2mm以下の石を掴むため、
極細のものが良い)
 - ・カッターナイフ
(一般的なもので良い)
 - ・ケガキ(カニコンパスでも良い)
 - ・ノギス
 - ・油性ペン(マッキー極細など)
 - ・超硬へら(先の細いもの)
 - ・ヤスリ(三角の細目又は精密)
- ※その他、ドリル、ハンドモーター等、
普段ご自身で使用している
工具を持参いただいで結構
です。

講座番号	No. 4	講座名	匠の技継承講座【宝石のリカットコース・A 日程】		
開講日時	第1回 8月26日(水) 9:30~12:30 第2回 8月26日(水) 13:30~16:30 第3回 8月27日(木) 9:30~12:30 第4回 8月27日(木) 13:30~16:30	受講対象	山梨県内に在住のジュエリー産業従事者(制作分野)、 (その他要問い合わせ)		
開催場所	山梨県立宝石美術専門学校 宝石加工室1	定員	12名程度		
		講習料	24,000円(全4回合計)		
担当講師	講師:中野 誠、サポート講師:佐々木優子				
内容課題 持参道具 注意事項	<p>宝石のカットや研磨において高い技術力を持ち、「金平糖」の形をしたユニークなルースで知られている中野 誠 氏を講師に迎え、痛んだ・不良形状の宝石を美しく再生させる「リカット」の技術を習得のための講座を実施します。実践的な研磨プロセスを通じ、宝石の価値向上を図るスキル習得を目指します。</p> <p>【内容】</p> <p>第1回 宝石リカットの基礎理論と道具の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ①リカットとは何か:再研磨の意義・用途・市場価値 ②リカット対象となる宝石の見極め(傷・インクルージョン・シェイプ) ③使用する道具・機会の解説(ファセッター、研磨剤、ドップスティック等) ④安全管理とトラブル対処法 <p>第2回 実技①プレフォームと粗研磨</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ドッピング(宝石を持ち手に接着)とアライメント調整 ②ファセットカットの基本形状形成(プレフォーム) ③粗研磨による形状出しとバランス調整 ④研磨中の割れ・欠け防止のテクニック <p>第3回 実技②ファセット研磨と調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ①各ファセット面の仕上げ研磨(角度、対称性の確保) ②インクルージョンや欠けの除去・回避の判断 ③光の反射とブリリアンスを意識した研磨技術 ④実技:研磨仕上げ前のチェックポイント <p>第4回 実践課題と総まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ①リカット実践(受講者ごとの課題石を使用) ②加工前後の比較・記録 ③講評と講師のフィードバック ④よくあるトラブルと再加工の判断基準 <p>【使用テキスト】 イマハシ式ファセッター説明書</p> <p>【持参道具】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ルーペ、ノギス <p>【注意事項】 ※実習講座に必要な材料は、各回支給します。 ※受講生の作業進捗やその他の事情により、講座の内容を変更する場合があります。</p>				

講座番号	No. 5	講座名	匠の技継承講座【宝石のリカットコース・B 日程】	
開講日時	第1回 9月2日(水) 9:30~12:30 第2回 9月2日(水) 13:30~16:30 第3回 9月3日(木) 9:30~12:30 第4回 9月3日(木) 13:30~16:30	受講対象	山梨県内に在住のジュエリー産業従事者(制作分野)、 (その他要問い合わせ)	
開催場所	山梨県立宝石美術専門学校 宝石加工室1	定員	12名程度	
		講習料	24,000円(全4回合計)	
担当講師	講師:中野 誠、サポート講師:佐々木優子			
内容課題 持参道具 注意事項	<p>※No. 4匠の技継承講座【宝石のリカットコース・A 日程日程】と同じ内容、別日程の講座です。 宝石のカットや研磨において高い技術力を持ち、「金平糖」の形をしたユニークなルースで知られている中野 誠 氏を講師に迎え、痛んだ・不良形状の宝石を美しく再生させる「リカット」の技術を習得のための講座を実施します。実践的な研磨プロセスを通じ、宝石の価値向上を図るスキル習得を目指します。</p> <p>【内容】 第1回 宝石リカットの基礎理論と道具の理解 ①リカットとは何か:再研磨の意義・用途・市場価値 ②リカット対象となる宝石の見極め(傷・インクルージョン・シェイプ) ③使用する道具・機会の解説(ファセッター、研磨剤、ドップスティック等) ④安全管理とトラブル対処法 第2回 実技①プレフォームと粗研磨 ①ドッピング(宝石を持ち手に接着)とアライメント調整 ②ファセットカットの基本形状形成(プレフォーム) ③粗研磨による形状出しとバランス調整 ④研磨中の割れ・欠け防止のテクニック 第3回 実技②ファセット研磨と調整 ①各ファセット面の仕上げ研磨(角度、対称性の確保) ②インクルージョンや欠けの除去・回避の判断 ③光の反射とブリリアンスを意識した研磨技術 ④実技:研磨仕上げ前のチェックポイント 第4回 実践課題と総まとめ ①リカット実践(受講者ごとの課題石を使用) ②加工前後の比較・記録 ③講評と講師のフィードバック ④よくあるトラブルと再加工の判断基準</p> <p>【使用テキスト】 イマハシ式ファセッター説明書</p> <p>【持参道具】 ①ルーペ、ノギス</p> <p>【注意事項】 ※実習講座に必要な材料は、各回支給します。 ※受講生の作業進捗やその他の事情により、講座の内容を変更する場合があります。</p>			

講座番号	No. 6	講座名	社会人向け輝きの伝承講座、技能塾	
開講日時	第1回 8月27日(木) 13:30~16:30 第2回 9月3日(木) 13:30~16:30 第3回 9月10日(木) 13:30~16:30	受講対象	■技能五輪部門 指定課題を通して五輪課題相当の技術習得を目指す者 ■技能検定1級及び2級部門 技能検定1級及び2級取得を目指す者 ■技能グランプリ部門 指定課題を通してグランプリ課題相当の技術習得を目指す者	
開催場所	山梨県立宝石美術専門学校 貴金属加工室6	定員	4名程度	
		講習料	36,000円(全3回合計)	
担当講師	講師:村松 司、サポート講師:穂坂雅喜			
内容課題 持参道具 注意事項	GIT's World Jewelry DesignAward's2022 審査員を務め、草花や昆虫をモチーフにしたデザインで世界的にも著名なジュエリーデザイナーである、村松 司 氏を講師に迎え、技能五輪、技能グランプリ入賞、技能検定1級及び2級取得に必要な技術習得を目指す講座を実施する。原則として、自主制作した課題を確認した上で、参加者個々に応じた指導を行う。 【内容】 ※いずれかの部門を選択して受講する。 <u>1 技能五輪部門及びグランプリ部門(全3回)</u> ※第57回技能五輪全国大会の課題を行います。 導入(1回) ①自主制作品の確認 ②図面及び指定仕様の確認 ③基本技術の解説(曲げ、肉だし、二段腰、ロウ付け、仕上げ等) 2・3回目(各1回) ①宿題課題の確認 ②基本技術の実演及び練習 <u>2 技能検定1級及び2級部門(全3回)</u> 導入(1回) ①自主制作品の確認 ②図面及び指定仕様の確認 ③基本技術の解説(ケガキ、切出し、肉出し、ロウ付け、石留め、仕上げ等) ※石留めは1級のみ 2・3回目(各1回) ①宿題課題の確認 ②基本技術の実演及び練習 【使用テキスト】 講座内で配付するプリント 【持参道具】 必要工具一式 ※ハンドモーター、ロウ付け装置は備え付けのものも使用できます。 ※消耗品は各自で用意してください。 【注意事項】 ※初回には必ず各自で制作した過去課題をお持ちください。 ※実習講座に必要な材料は、各回支給します。 ※受講生の作業進捗やその他の事情により、講座の内容を変更する場合があります。			